

みうらトーク&トーク 第8弾

日 時 平成20年3月26日（水）

11時00分から12時00分

場 所 青少年会館会合室

参 加 者 市民 6名

市側 9名

テ ー マ 「地域の防災意識を高めるために」



内 容

概要を説明（行政管理部）

東海地方で現在懸念されております地震の発生周期は、ますます切迫されているというふうに伝えられています。

地震予知の観測体制が取られていますが、発生すれば、三浦市におきましても震度5強程度の揺れと津波が発生しその被害も予想されております。

また、これとは別に南関東でも直下型の大きな地震がこれもまたいつ起きてもおかしくないという時期に差し迫った状況であるということを地震学者の方々から述べられています。

平成7年の阪神淡路大震災、最近では新潟県の中越地震、福井県の西方沖地震、昨年、起きた新潟県中越沖地震これらは大変大きな地震の被害をもたらしております。

とりわけ被害が大きかった阪神淡路大震災では、6,404名の方の尊い命が亡くなっております。

その後に発生した大きな地震がありますが、新潟県の中越地震は、皆さんの記憶に新しいと思います。この地震でも多くの家屋が倒壊し、また火災も発生しています。

しかし、この地震による被災者で亡くなった方が非常に少なかったということですが、これはひとえに平成7年阪神淡路大震災の教訓がかなり活かされている部分があるといわれています。

一つの例ではガスの供給緊急遮断設備ができたことです。ハード、ソフト的な部分も含めて相当教訓が活かされ被害の軽減に役立ったのだと思います。

防災意識も当然あの地震以来高まり、市としてもいろいろな防災に対する取り組みを拡充し地域防災訓練の取り組み等、皆様に防災意識を高めるために取り組んできました。

三浦市としても、阪神淡路大地震を教訓に三浦市の地域防災計画を見直しています。地震災害から

すべての皆様の生命と財産を守るというために、必要最小限度の災害対策に落ち度があってはいけないということで、厳しい財政状況下の中ではありますが、粛々と計画に則ってハード的な設備を進めています。

その他、防災訓練、総合防災訓練あるいは防災講演会を計画的に進めています。

しかし、大きな災害が発生しますと行政の対応能力の限界ということを是非ともご認識をいただき、地域の皆様には自分の身は自分で守っていくという意識を強固に持って大規模災害に備えて対処していただきたいと考えています。

本日のテーマである災害時における地域住民の自助・共助行動が地域の被害の拡大を阻止し軽減します。

市は地域の方々の防災に対する意識のさらなる向上のために、自主防災組織の結成と防災訓練への参加等組織の活性化に向けた対策を講じております。

現在 55 区、三浦市の区長会組織がありますが、このうち 54 区の中に防災組織を結成されています。

この 54 という数字は全国的に見ても高い水準であります。組織の活動は地域によっても多少温度差はあります。

地域の防災訓練はここのところ年間 30 件程度の訓練が実施されています。後ほど資料の中でご説明させていただきます。

ここ数年まったく訓練が行われていない組織もあります。そういったところに機会がある毎に呼びかけを行い掘り起こしを図って、もう一度防災とは何かということで考えて直していただき地域防災の向上になっていけばと思います。

資料の説明をさせていただきます。

平成 19 年度に取り組んだ今日現在の地域の防災訓練の 21 箇所延べ 1,829 人の方に参加していただきました。また市が単独で取り組んだ A E D の普及活動と今後の計画等の一覧です。また学校等が今年度から小中学校を中心に整備していきます。その後できれば地区の方に地区の皆様のお力を借りながら実施します。

防災組織の結成状況ですが、4,000 名強の隊員が登録されて訓練に参加されています。この中には、婦人の方も 7 隊ありまして 54 名の方が参加をされています。これには婦人の消防大会がありまして全国の大会にも参加をしています。

その他、避難地区あるいは避難所の一覧表を参考ということで付けさせていただきます。

意見交換

(市長)

地域防災計画は消防も関わっています。消防が現場の部隊として市全体の計画を作り訓練をするのは危機管理課が担当しています。各区に防災倉庫の備品の入れ替えたりもしてます。

市として出来ることは、行っているが地域で活動していただく地域住民の方々の認識をもっと深めるためにどうしたら良いかという視点が必要だと思います。日頃、感じておられるご意見をお聞きたい。

(市民)

赤羽区では、資料でとおり自主防災隊をつくりました。最近では、この組織の中に防災委員会という最高意思決定機関をつくりました。区長が防災委員長、その他に防災委員4名これは区の区長とか役員、防災隊長は消防経験者です。この7名が最高意思決定機関として毎年4月に会合を行い年間の防災の行事計画を作成しています。併せて毎年自主防災隊の編成をしています。

初動班は何十年もやってくれる地元の農家の人が主体となっています。一般の班長、隊員については組が35組あるが毎年変わります。ここで編成を行いまして、4月の末に全体の防災会議を行いまして、そこで正式に年間の行事計画を決定しています。

それに基づいて毎年やっているのは、6月に総合防災訓練大体100名規模の隊員を集めて、主として情報収集と伝達訓練、避難誘導訓練、初期消火訓練、車両による段差徒歩訓練、炊き出し給食訓練、応急救護訓練を行っています。

これにつきましては、勿論、危機管理課から指導を受けていますが、警察署の参観も受けております。この訓練実施につきましては前もって区内に回覧で参加の呼びかけを行うとともに、地震が起きた場合の必要な事項を周知しています。

ただ、こういう訓練は毎年参加する人は結構メンバーが代わるため、同じ内容でもそれほど支障がないと思っています。併せて去年は3年に1回の普通救命講習会を開催しているが、11月29日に消防本部担当者によるAEDを取り入れた、初動班と婦人消防隊が21名参加し訓練を行いました。

併せて、5月に消火器を含めた資機材点検を隊員を集めて行い、古い消火器の交換、資機材の交換も行いました。併せて初動班は月一回、月末の土曜日夕方小型ポンプの点検を分担表により決めています。赤羽根区としては、年間15万円程度の予算を組んで資機材の補充、隊員の研修をしながら組織的な活動を行っています。

今後は、今の編成が100名いるがこれをなんとか200名程度に、いざという時は、やはり避難誘導が必要と考え、一時避難場所、ゴミステーション等を表示しているが、区内の高齢化も進んできてお

りそういうことに目を向けた避難誘導対策を充実させていければと考えています。

(市 長)

日頃から赤羽根区で活動されていて問題点は、防災訓練の参加人数をもっと増やしたいということになると思うが、例えばスケジュールは掴んでいるのか。

(市職員)

区が作成しますが、掴んでいます。

(市 民)

この2、3年、市の方の対応が良いように感じています。

提案があるのですが、昨年10月27日に総合防災訓練が中止になりました。天気が悪い日が当然あるわけで、その場合に予備日を1次、2次と設けみてはどうですか。

というのは防災計画等準備をするのにかなりの労力をかけていると思います。せっかく、そこまですらで労力をかけるのだから今年は予備日を2日くらい設けて実施して欲しいです。

もう一つは、災害に対する意識は、日が経つと薄れてしまいます。広報紙に防災のテーマを決めて年12回載せてはどうですか。病院が載せているようにしてみてもどうですか。費用は印刷代程度しかかからないと思います。

関連して三浦市には、東大の地震研究所があるので、地震研究所の専門の方に書いてもらうことはどうですか。以前には、東大の地震研究所の人の講演会もありました。

テーマははずれるが、三浦の小網代の森の中にゴミが捨ててあった。例えば1990年代にニューヨークが荒れて犯罪が多発したときにジュリアーノ市長が工場の破れ窓といって、あまり窓が破られていないうちに直し、そのことによって街全体の犯罪が減りました。小網代の森はそれほどでもないのに、今の内ならばそう難しくないと考えています。是非、クリーン三浦を実践して欲しいです。

(市 長)

予備日のお話はそう難しい話ではないと思うので、充分対応出来ると思います。防災テーマのお話は広報紙にもニーズがありそれぞれ枠をはめ込むのも大変なことがあるが、シリーズ化することは良いことかも知れません。市民協働室もいるので前向きに検討していきます。ゴミの件は非常に注意しているが、ゴミを捨ててあるところにはどんどんゴミを捨てられる。三浦には山も多いので、行政管理部の方で確認し対応します。

(市 民)

私達の所は、世帯数は約170世帯です。防災に関する活動内容は年間1回で、19年度の予定は避難訓練を計画していたが、雨のため中止せざるを得なかった。

自主防災隊の組織は出来ているが、実際の活動はしていないのが現状です。

赤羽根区は、かなり活動を行っていますが、いかにして活動して行くか懸案事項となっています。

毎年思うがなかなか実行出来ない現状です。自主防災隊は35名です。

要望事項としては、市で行う防災訓練の曜日を土曜日ではなく、日曜日にしてもらえると助かります。私達の委員さんは、商店街の方が多く土曜日だとなかなか難しいところがあります。

(市長)

曜日については、区長会と調整しながら決めています。もし、土曜日が難しいということであれば、独自に別の曜日で諏訪区だけで行うということも可能だと思います。

(市職員)

市で行う防災訓練の曜日はこれから区長会に相談して決定していきますが検討します。

(市民)

上宮田5区は、3月23日に危機管理課の職員3人が来てくれて、防災訓練を行いました。

参加者は93名で、放水、消火器訓練、三角巾救護訓練、AED取扱訓練を行いました。私達の団地は、1つの団地18棟で備蓄倉庫に水、カンパン、五目ごはん、ミルク、みそ汁を入れてあるが、今年期限切れで入れ替わりに30万円程度かかり財政的に厳しいところがある。当然全員に渡るのではなくあくまでも補助的なものであるので、出来れば市が例えば一家3人家族ならば、揃えるものを写真で示して欲しい。看板に張ってもらって常に意識をしてもらいたい。訓練でも千何百人いる中で毎年3月にやっているが100名まで集まらない状況です。

今年は、区域内に非常防災放送用スピーカーを取り付けるのとAEDの購入を考えています。市の補助をよろしくお願いします。

今年の訓練で分かったことは、多少訓練の場所を変えると人が動くので今まで後ろで見ていた人が参加した。三角巾の訓練でも50個すべて使いました。人の動きが変り参加しやすく全員が参加しました。私のところは5階建てであり、何かあったとき人を降ろす場合に担架がいるが、5台ある担架の内4台が使えない。要するに従来の担架では階段が曲がれないからです。

新しい1台だけ階段を曲がれ形式なのだが、1台だけではおぼつかない。それらも考えていかなければならないと思っています。

(市職員)

非常食の蓄えについてですが、直近では平成18年4月に防災マップを全戸配布させていただきました。その中にも、こういう備えが必要ですよと書かれていますが、一世帯あたり一人3食分を3日分、最低これだけは飲料水を含めて備蓄していただければと思います。

行政の方でも全く備蓄していないということではなくて、備蓄目標の約 28,000 食を概ね達成いたしております。後は更新なのですが 3 年、5 年の賞味期限があります。これ以上備蓄量を増やすことも財政的にどうかなあと思ひ市としてこれから備蓄していくのは、市民の方が備蓄しにくいものは行政である県、市が備蓄するという役割分担をしていきたいと考えています。

例えば災害用のトイレ等を行政として優先的に備蓄する。個人が備蓄するものは、非常食、水、ミルクなど極力個人で最低 3 日間備蓄していただければ、後は公的な支援が来ますので、まさに自助・共助の考え方です。

多分、5 区の方は自治会費の中で負担されていると思いますが、おしつやるように予算を沢山待っている区もあるが、私どもでは優先順位をつけてやっており、20 年度でいくつかの区が既に要望されています。これからに配分していきますが必ずしもお約束は出来ません。

AED の整備をしていただけるということなので、私どもも非常に助かります。AED につきましては、公設の整備は学校も含めて平成 22 年までに完了する予定です。平成 22 年度以後は地域に順次整備を検討しており、お知らせをしていきます。

(市 長)

予算面の話は結構厳しいが、優先順位を付けて対応していきます。個人の備蓄については、例えば「防災マップ」に書いてあれば、職員はそこに書いてあると言いそこで終わってしまいます。先ほどの意見のとおり日頃から頻繁に P R をやっていなければならないと思います。

皆さん「防災マップ」はどこかにしまっていると思います。職員にはやったことに満足しないでやったあとのフォローが大事と言っています。

(市 民)

サイレンについてですが、救急車とか消防のサイレンは分かるが、もし大きな地震で津波がきた場合の警報音は日本全国で決まっているのか。

(市職員)

警報音は気象庁で決めています。大津波の場合は何秒鳴らして何秒休むというようなことになっています。市の防行政無線にシステムが登録されています。

広報は充分できていませんが、緊急地震情報は平成 20 年度以降鳴らそうとしています。これからそのパターンを機会ごとに周知していきたいと思います。現在でも震度 4 で自動的に放送するようなシステムになっています。この 2、3 年で 1 回警報が鳴ったことがあります。

(市 長)

市民の皆さんにいかに早く伝えるかが、役所にとって大きなテーマです。警報がでると市職員が市

に待機します。課長以下は、待機します。私も何かあったときは必ず連絡の取れる場所にいてくれといわれて、遠くから戻って来たこともあります。

（市職員）

防災の携帯メールは現在 1,500 人の方が登録されていて警報等で情報を配信している。職員の参集もこのメールで行います。防災無線の聞き取れないときにも利用されたい。

（市 長）

防災メールは、少しでも多くの方に利用していただきたい。

（市 民）

地域の防災の指導者を集めた講習会を行っていただきたい。新しい情報等を取り入れた講習会をよろしくお願いします。また A E D の設置場所がどこに置いてあるかを教えていただきたい。

（市職員）

消防で A E D はある程度把握しているが、少し時間をいただければ調べてお示します。講習会については、ご参加いただければ実施したい。

（市 長）

トーク＆トークについて何かあれば市民協働室にご連絡ください。

（市職員）

本日は、お忙しい中、貴重な意見をありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

これでトーク＆トークを終了します。

※ 公表については、了解を得ております。